

平成27年度6月補正予算知事査定ヒアリング資料

部局名:教育委員会

細事業名	事業費
「確かな学力」を育む総合支援事業費	8,000

平成27年度事業マネジメントシート（事務事業）

担当課 教育委員会事務局 学力向上推進 PT

事業概要

細事業名	「確かな学力」を育む総合支援事業				区分	継続
施策	221	学力の向上				
	22101	子どもたちの学力の定着と向上				
基本事業	目標項目		26年度実績値	27年度目標値		
	授業の内容を理解している子どもたちの割合			85.0%		
選択・集中重点化施策	協1	未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト				
根拠 (法令等)						
予算額等	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	予算額		30,377千円	20,405千円	26,829千円	56,877千円
	決算額		16,010千円	15,432千円		
事業の目的	<p>学力の定着と向上を図るため、小中学校で平成27年度の全国学力・学習状況調査および「みえスタディ・チェック」等を活用し指導改善を図ります。また、全国学力・学習状況調査の結果について、民間機関に協力を依頼し、全国的な視野に立った客観的な分析や改善方策等をまとめます。併せて、県が策定した公表モデル様式も参考にしながら、調査結果とともに課題解決に向けた学校の取組を主体的に家庭・地域に公表・説明することをとおして、学校・家庭・地域が一体となり児童生徒の学ぶ意欲を高める環境づくりを進めます。</p> <p>また、専門的な教育機関から講師を招聘し、国語に焦点をあてた研修会等を県内全小中学校の学力向上推進担当者を対象に実施するなど、さまざまな場面での児童生徒への指導が充実するよう、教員の指導力向上を図ります。</p> <p>中学生の科学技術に対する関心を高めるために「科学の甲子園ジュニア」三重県予選大会を実施し、科学技術に対する関心を高めるとともに、JSTが開催する「科学の甲子園ジュニア」全国大会への参加を促進します。</p>					
事業目標	<p>学校・家庭・地域が一体となり児童生徒の学ぶ意欲を高める環境づくりが進められ、児童生徒の学習意欲等が向上し、学力の定着と向上が図られます。</p>					
前年度からの変更点	<p>全国学力・学習状況調査の結果について、民間機関に協力を依頼し、全国的な視野に立った客観的な分析や改善方策等をまとめます。「みえスタディ・チェック」の実施形態を改善し、各小中学校における活用をさらに促進します。</p>					
事業の必要性と期待される効果	<p>子どもたちの学力の定着と向上を図るためには、全国学力・学習状況調査および「みえスタディ・チェック」等を活用し、調査結果とともに課題解決に向けた学校全体での取組を県が策定したモデル様式も参考にし、主体的に家庭・地域に公表・説明し、学校・家庭・地域が一体となり児童生徒の学ぶ意欲を高める環境づくりが必要で</p>					

す。そのために、全国学力・学習状況調査の結果について、きめ細かな分析とともに、全国学力・学習状況調査結果から課題を抱える学校を実践推進校として指定し、少人数指導を支援するための非常勤講師の配置や学力向上アドバイザー等の派遣など総合的な支援を行います。また、専門的な教育機関から講師を招聘し、国語に焦点をあてた研修会等を県内全小中学校の学力向上推進担当者を対象に実施し、実践推進校の取組成果を授業公開や研修会において、県内の小中学校に普及・啓発することにより、指導改善が進み、児童生徒の学力の定着・向上が進められます。

さらに、「科学の甲子園ジュニア」三重県予選大会への参加を促進することにより、科学技術に関する関心が高まります。

取組詳細

(1) 調査結果等を活用した市町等教育委員会や小中学校の指導改善の取組への支援
全国学力・学習状況調査の結果については、民間機関に協力を依頼し、全国的な視野に立った客観的な分析や効果的な改善方策等をまとめ、市町等教育委員会や小中学校における学力向上の取組に役立てます。

小中学校で「みえスタディ・チェック」を実施し、児童生徒の学習状況をきめ細かく把握し授業改善に生かします。また、みえスタディ・チェックの結果についても、問題作成を委託する民間業者の協力のもと、分析や効果的な改善方策等をまとめ、市町等教育委員会や小中学校における学力向上の取組に役立てます。

専門的な教育機関から講師を招聘し、国語に焦点をあてた研修会や実践推進校の取組成果を発表する授業公開や研修会を開催したりして、授業改善を支援します。

(2) 実践推進校への総合的な支援

学力向上アドバイザー等を派遣し、授業力向上等のための具体的な指導方法等についての指導・助言を行います。

調査問題及び調査結果の分析、それに基づく授業改善の具体的な取組等を中心に支援します。

学校規模に応じて、少人数指導を支援するための非常勤講師を配置します。

(3) 取組成果の普及・啓発

学力向上推進会議、地域別学力向上推進会議等を開催します。

(4) 中学生の科学技術に対する関心を高める取組

科学好きの裾野を広げ、探究心や創造性に優れた人材を育成するため、中学生を対象とした「第3回科学の甲子園ジュニア」三重県予選大会を開催します。

取組内容等

(1) 学力向上に向けた指導体制確立支援事業

60,639千円(59,757千円)

児童生徒の学力の定着と向上を図るため、全国学力・学習状況調査の結果については、民間機関に協力を依頼し、全国的な視野に立った客観的な分析や効果的な改善方策等をまとめます。併せて調査結果とともに課題解決に向けた学校の取組を家庭・地域に公表・説明し、児童生徒の学ぶ意欲

を高める環境づくりに取り組みます。また「みえスタディ・チェック」を作成し、各小中学校における活用を推進し、児童生徒の学習内容の定着状況を把握し、きめ細かな指導に生かします。

※うち6月補正分 8,000 千円 (8,000 千円)

・全国学力・学習状況調査結果の分析等について、民間機関に協力を依頼。

(2) 確かな学力の育成に係る実践的調査研究事業 3,161 千円 (0 千円)

児童生徒の学力向上のための取組について、様々なテーマによるメニューの中から、市町等教育委員会が学校や地域の実情等に応じたテーマを選択し、実践的研究を実施します。

(3) 「科学の甲子園ジュニア」三重県予選大会支援事業 1,077 千円 (270 千円)

「科学の甲子園ジュニア」三重県予選大会の実施を通じ科学技術に対する関心を高めるとともに、JSTが開催する「科学の甲子園ジュニア」全国大会への参加を促進します。

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果分析等について

～児童生徒の学力の課題状況について、民間機関等の協力を得て、全国的な視野でより客観的・総合的に分析の上、活用～

全国的な視野に立った深掘りの課題分析や改善方策を市町等教育委員会や小中学校の支援に生かす

⇒ 研修会、学校訪問、実践推進校の取組、みえスタディ・チェック、ワークシート等に反映

深掘りの課題抽出・分析

- ・各設問・関連問題について、誤答類型に応じた指導上の課題等を詳細に分析。
- ・全国学調の問題と県内使用教科書との関連性を分析
- ・過去に課題があった類型との経年比較による課題の抽出
- ・児童生徒質問紙、学校質問紙から見える学習・生活状況を全国的視野で比較。
- ・各市町等における学力の課題状況を児童生徒質問紙、学校質問紙と関連付けて分析(例えば、「目標の提示」や「振り返る活動」と学力との関係)等

改善方策の提示

- ・子どものつまずきに応じた具体的な指導方法
- ・自校採点を行っている他県の分析・活用方策
- ・三重県と類似の課題を持つ他県の改善方策
- ・少人数教育(特に小学校のチーム・ティーチング、中学校の習熟度別少人数指導)で成果を上げている他県の工夫。
- ・無解答率の改善に向けての改善方策 等

※児童生徒質問紙: 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

※学校質問紙: 学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査